

令和6年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	木 村 優 那
論 文 タ イ ト ル	スポーツ施設におけるネーミングライツの分析 ～企業・地域・スポーツチームの関係性について～
要 旨	本研究は、ネーミングライツ制度の現状とその傾向を明らかにし、地域、企業、スポーツチームの三者間の関係性を検討することを目的としている。研究対象を2024年8月末時点で関東1都6県においてネーミングライツ契約が結ばれているスポーツ施設とし、各自治体の公式ホームページから契約情報を調査した。分析では、パートナー企業の業種や本社所在地、施設名の構成要素を中心におこなった。その結果、企業と地域の関わりが施設名を通じてどのように反映されているかを明らかにするとともに、地域とスポーツチームの結びつきが地域社会に与える影響についても一定の示唆を得ることができた。本研究は、新たな自治体の収入源として期待されるネーミングライツ制度が、地域振興や経済面でより効果的に機能するためには、地域・企業・スポーツチームの三者が相互に連携を深める必要があることを指摘した。